

山口県立萩美術館・浦上記念館

# H A G I |

HAGI URAGAMI MUSEUM MAGAZINE

# 萩

# 119

SPRING ISSUE  
2026



# ロックフェラー・コレクション花鳥版画展によせて

アメリカ有数の大富豪として知られるロックフェラーの名を冠するこの花鳥版画コレクションの存在は、日本でもあまり知られていないであろう。この展覧会は、ジョン・D・ロックフェラー・ジュニア(1874-1960)の夫人、アビー・オールドリッチ・ロックフェラー(1874-1948、以下、通称アビー)〈fig.1〉が収集した、葛飾北斎(1760-1829)や歌川広重(1797-1858)を中心とした浮世絵師による美しい花鳥版画のコレクションを展観するものである。現在このコレクションは、アビーの出身地ロードアイランド州プロビデンスに位置する美術大学ロード・アイランド・スクール・オブ・デザインの付属美術館(通称RISD美術館)に所蔵されている。夫であるロックフェラー・ジュニアが、同地の名門校ブラウン大学の学生であったことから、二人は出会ったという。

浮世絵といえば、通常まずは美人画、役者絵、風景画といった絵が思い起されるであろう。しかし花鳥画は、浮世絵出版全体の中では少数派とはいえ、古くは浮世絵の始祖と位置付けられる菱川師宣(?-1694)が

『花鳥絵づくし』[天和3年(1683)]という絵本を手がけたように、浮世絵発生当初から連綿と描き継がれてきた主題であった。これにはもちろん浮世絵以前からの掛軸や屏風といった形態で描かれてきた日本絵画、視野を広げて述べるならば中国絵画に影響を受けた花鳥画の伝統があったことは確かである。

ただ浮世絵発生以前には、花鳥画が上層の人々のための絵画であったのに対して、薄利多売の採算の中で出版されてきた浮世絵版画には、庶民に至るまで手にすることができるという世界にも稀な特性があった。版画という媒体によって、花鳥画は階層に関わらず楽しむことができるようになったのである。本展に出品されている中で最も古い花鳥版画は、西村重長(1697?-1756)による《かも》〈fig.2〉(出品番号3)で、いまだ墨摺絵に筆で彩色していた時代の作品である。その後も様々な絵師が、花鳥画を描いた様相の一端は、本展の第1章「花鳥版画を手がけた浮世絵師たち」で見ることができる。



〈fig.1〉  
アビー・オールドリッチ・ロックフェラー(右 1874-1948)と  
ルーシー・トルーマン・オールドリッチ(左 1869-1955)



〈fig.2〉  
無款(西村重長)《かも》細判漆絵  
享保(1716-36)中期頃(出品番号3)  
本展出品作の中で最も古い花鳥版画



〈fig.3〉  
歌川広重《水葵に鶺鴒》大短冊判錦絵  
天保3-6年(1832-35)頃(出品番号1)  
アビー・ロックフェラーが1916年に初めて購  
入した作品の一つ

以降の章は、花鳥画の黄金期ともいうべき天保期(1830-44)の北斎や広重を中心に構成されている。第2章「広重花鳥版画の華」では、広重の花鳥版画の中で最も評価の高い大短冊判という判型の名品、第3章「北斎と北斎派の花鳥版画」では広重の表現とは対照的とも言える北斎の個性的な表現を見ていただきたい<fig.3><fig.4>。続く第4章「季節の風情 団扇絵の名品」では、団扇に貼って楽しむために制作された未使用の希少な団扇絵判の花鳥画を特集している<fig.5>。第5章「詩歌と絵を楽しむ」は、広重花鳥版画のハイライトの一つで、画中に配された俳諧や狂歌とともに絵を深く味わっていただければと思う<fig.6>。そして対峙して鑑賞することを意図することが多い西洋や中国の絵画とは対照的に、手にとって愛玩する絵としての魅力を集めた第6章は「小さく愛しき花と鳥」とした。

明治10年(1877)代には外国への販売を目的とした浮世絵商という商売が成立し、多くの浮世絵版画が海を渡ったが、花鳥版画に絞って収集したコレクターというのは他に知られていない。初めてアビーが求めたのは、1916年、在日経験のあるジョン・オズグッド・ブランチャー

ド夫人の565点の浮世絵版画のオークションで落札された10点程の花鳥版画であった。その中には、今回展示される広重の《水葵に鴛鴦》<fig.3>や北斎の《黄鳥 長春》(出品番号56)などが含まれている。確かにブランチャード・コレクションには花鳥版画が100点ほどあり、その占める割合が大きかったとはいえ、アビーは当初からこの種の版画に強く惹かれたものと思える。その後もアビーは花鳥版画の収集を続け、700点にのぼる世界でも珍しいコレクションを形成した。美術品として花鳥版画は当時さほど高額なものでもなく、大富豪の夫人だから集められたというわけでもない。アビーが、実父の遺産により自らの楽しみのために1点ずつ選びながら丁寧に収集したことは、残された作品整理のためのカードボックスからも知られるだろう<fig.7>。そして日本の染織品を収集していた姉ルーシーの勧めもあって、1934年にRISD美術館にすべての花鳥版画を寄贈したのである。



<fig.7>  
アビー・ロックフェラー愛用のコレクション整理カードボックス



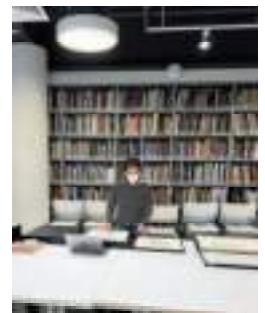
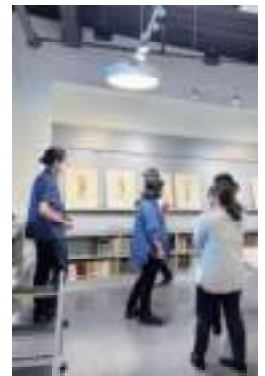
<fig.4>  
葛飾北斎《桜に鷹》長大判錦絵  
天保4-5年(1833-34)頃(出品番号51)  
武家好みの主題。版元森屋治兵衛の店は江戸の一大旅館街で、馬場を備えた馬喰町に位置した。



<fig.5>  
葛飾北斎《露草に鶏》団扇絵判錦絵  
天保3年(1832)頃(出品番号68)  
切り取って団扇に貼るための錦絵。鶏親子の鋭い目つきが北斎らしい。

実はこのコレクションは、1990年に「ロックフェラー浮世絵コレクション展 甦る美・花と鳥」と銘打たれて、日本で展覧会が一度行われている。それから35年余、今回最新の研究成果も交えてこれを紹介できる機会を持ったことは大変喜ばしいことである。RISD美術館の学芸員であったワイイー・チョン氏(現、ヴァージニア美術館学芸員)、また2017年に「プリティプリント 江戸の花鳥版画展」を開催、日本有数の浮世絵コレクションで知られる萩美術館・浦上記念館学芸課長の吉田洋子氏の発案によりプロジェクトがスタート、2024年夏には千葉市美術館、三重県立美術館、北斎館という巡回館の各学芸員がプロビデンスのRISD美術館に集結し、ロックフェラー・コレクション全ての花鳥版画を調査、その中で選りすぐりの163点が展示されることになったのである<fig.8>。海外から作品を輸送する経費の高騰など経済的な厳しさも重なったが、花鳥版画の魅力を誠実に紹介したいという思いから展覧会が実現した。この貴重な機会に、世界でも稀なこの花鳥版画コレクションを是非ご堪能いただきたいと思う。

国際浮世絵学会常任理事 田辺昌子



<fig.8>  
RISD美術館での調査の様子

<fig.6>  
歌川広重<月に雁>中短冊判錦絵  
天保3-6年(1832-35)頃  
(出品番号103)  
切手にもなった広重の名著。譜は「こむな夜が 又も有うか 月に雁」。

\*作品はすべてRISD美術館所蔵 Courtesy of the Museum of Art, Rhode Island School of Design, Providence Gift of Mrs. John D. Rockefeller, Jr.



本館2階展示室

開館30周年記念

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵

# ロックフェラー・コレクション Rockefeller Collection

## 花鳥版画展 / 北斎、広重を中心に

Bird-and-Flower Prints from the Abby Aldrich Rockefeller Collection  
of the RISD Museum: Featuring Hokusai and Hiroshige

2026 4.18(土) → 5.31(日)

開館時間 | 9:00-17:00(入場は16:30まで) 休館日 | 4/20・27・5/11・18・25(いずれも月曜日)

観覧料 | 一般1,600円(1,400円) 学生・70歳以上1,400円(1,200円) 18歳以下無料

※( )内は前売りおよび20名以上の団体料金。※高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。

※障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。※前売券はローンチケット(Lコード:63165)、セブンチケットでお求めになれます。※開催中のコレクション展示もご覧いただけます。

主催 | ロックフェラー・コレクション展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、KRY山口放送)

後援 | 山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会

協力 | RISD MUSEUM 日本航空

歌川広重「椿に四十雀」大短冊判錦絵 天保3-6年(1832-1835)

Courtesy of the Museum of Art, Rhode Island School of Design, Providence Gift of Mrs. John D. Rockefeller, Jr.

アメリカのロードアイランド・スクール・オブ・デザイン(通称RISD、リズディ)は歴史ある芸術大学です。付属の美術館には、アメリカを代表する大富豪ジョン・D・ロックフェラーJr.の妻、そしてニューヨーク近代美術館(通称MoMA)の創設者の一人として知られるアビー・オールドリッチ・ロックフェラー(1874-1948)が蒐集・寄贈した約700点の日本の花鳥版画が所蔵されています。本展覧会は同コレクションから厳選した140点の花鳥版画をご紹介します。

コレクション展（浮世絵）

展示室1（本館1F）

はしぐち ごよう

## 橋口五葉

【会期】2026年3月31日（火）— 4月26日（日）

橋口五葉（1881-1921）は、装丁やデザインの分野での活躍が知られますが、晩年には、浮世絵版画の研究と復刻制作を行い、その成果を自らの版画作品に結実させました。大正5年（1916）、版元の渡邊庄三郎のもとで「浴場の女」を発表後、同7年から私家版を手がけ、同9年に10点の作品を制作しますが、翌年41歳で急逝しました。近代的な感覚で浮世絵版画のエッセンスを洗練させた五葉の作品はいずれも版画史に残る傑作です。今回は画稿や没後に出版された作品を併せて展示し、五葉の構想した版画芸術をご紹介します。



「髪梳ける女」 1920年（大正9年）

コレクション展（浮世絵）

展示室1（本館1F）

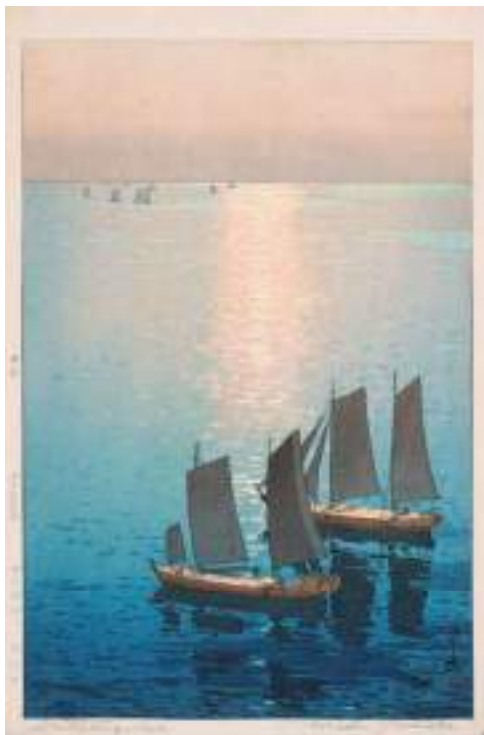
よしだ ひろし

## 吉田博の風景版画

【会期】2026年4月28日（火）— 5月24日（日）

風景画家、吉田博（1876～1950）は、小山正太郎が率いる画塾不同舎で洋画の研鑽をつみ、太平洋画会で活躍し、官展の審査員もつとめました。国際的な評価も高く、山岳画家としても著名です。大正期以降の後半生は、木版画家としても精力的に活躍しました。大正9～11年（1920～1922）に渡邊庄三郎のもとで新版画を制作し、同14年（1925）からは彫師と摺師を自ら指揮する私家版を「自摺」と称し、生涯に約250点の版画を手がけました。

洋画家、吉田博の版画表現をお楽しみください。



「瀬戸内海集 光る海」 1926年（大正15年）

コレクション展（浮世絵）

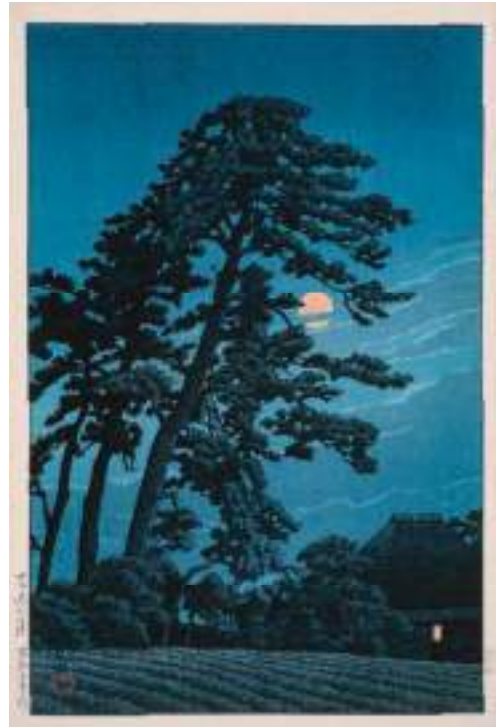
展示室1（本館1F）

## 郷愁の風景 かわせはすい 川瀬巴水

【会期】2026年5月26日（火）— 6月28日（日）

川瀬巴水（1883-1957）は、27歳で鏗木清方（1878-1972）に入門、大正7年（1918）に版元の渡邊庄三郎（1885-1962）のもとで塩原を主題とする三部作を発表し、好評を得ました。その後は、新版画を代表する風景画家として活躍し、日本全国を旅して描いたスケッチをもとに版画をつくるという暮らしを亡くなる直前まで続けました。

各地の風景を旅情豊かに描きとめた巴水の作品は、見る人を古き良き日本へと誘います。



「東京二十景 馬込の月」昭和5年（1930）

コレクション展（浮世絵）

展示室1（本館1F）

## 明治の美人画 ようしゅうちかのぶ 楊洲周延 I

【会期】2026年7月2日（木）— 7月26日（日）

楊洲周延は、本名を橋本直義という越後高田藩士でした。幕末の戊辰戦争の際には旧幕府軍として参戦しました。慶応元年（1865）頃に、豊原国周に入門、明治期には浮世絵師として第一線で活躍し、美人画を得意としました。明治天皇と皇后、官女たちを群像で描いた御所絵をはじめ、明治期に明らかになった江戸城大奥の風俗を絵画化した「千代田の大奥」、江戸から明治まで各時代の事物と女性の大首絵を取り合わせた「時代かがみ」、明治の新風俗を描いた「真美人」など、代表的なシリーズを中心に2回連続でご紹介します。



「真美人 官女」明治31年（1898）

コレクション展（東洋陶磁・陶芸）

展示室2（本館1F）

いろ え じ き

# 色絵磁器の美

【会期】2026年3月31日(火)－5月24日(日)

色絵磁器とは、高温焼成した磁器の釉薬の上に赤や緑、黄など様々な色絵具で文様を描き再度焼き付ける上絵付けの技法を施したものです。この装飾技法は中国・明時代の景德鎮官窯で発達を遂げ、嘉靖年間(1522~66)から万暦年間(1573~1620)にかけて爛熟期を迎えます。特に万暦期の五彩(色絵)磁器は日本で「万暦赤絵」と呼ばれ、続く明末清初期の景德鎮民窯の「天啓赤絵」や「南京赤絵」、福建省の漳州窯で焼かれた「呉州赤絵」などとともに人気を博し、日本の色絵磁器にも影響を与えています。日本では17世紀に肥前・有田(佐賀県)で始められ、柿右衛門、鍋島、九谷などの色絵磁器が知られており、その伝統的な色絵技法は、わが国の伝統工芸(陶芸)の「技」として今も新たな芸術作品を創り出しています。



色絵花鳥文皿 日本・有田 江戸時代 17世紀 当館蔵

本展では、当館が所蔵する彩り豊かな中国と日本の色絵磁器を展観し、磁器の上にそれぞれ独自の色調と文様表現を花開かせた華麗なる色絵磁器の世界を紹介します。

コレクション展（東洋陶磁・陶芸）

展示室7（陶芸館1F）

や き し め と う

# 焼締陶－土と炎の造形美－

【会期】2026年4月28日(火)－10月12日(月)

焼締陶とは釉薬を施さずに約1200～1300℃の高温で長時間焼成したやきものです。土が硬く焼き締まるため丈夫で水をほとんど通さない性質をもち、穀物や水を蓄える壺や甕、調理用の搗鉢などの実用品に適していました。日本では平安時代の終わり頃から鎌倉時代にかけて、常滑・越前・信楽・丹波・備前などで焼締陶の生産が始まり、人々の生活になくてはならないものとなります。また室町時代になると、土肌を感じさせる質朴な佇まいや、火と灰のはたらきによって偶然にあらわれる表面の変化(窯変)が茶の湯の美意識に合うものとして好まれました。やがて桃山時代になると、そうした変化を意図的に取り入れた作品がつくられ、茶陶としての地位を確立しました。



備前種壺耳付水指 江戸時代 17世紀 当館蔵

本展示ではこうした焼締陶の魅力を館蔵コレクションによってご紹介します。土と炎が織りなす造形の美をぜひご鑑賞ください。

コレクション展(工芸)

展示室8(陶芸館2F)

やまもとあきら

## 山本晃 一生命の輝き

【会期】2026年4月28日(火)ー8月23日(日)

山本晃(1944~2024 山口県光市生まれ)は、金工作家として独学で制作を始め、金属板を模様に合わせて切り抜き、同じ形に切った別の色の金属板をはめ込む「切嵌象嵌」や、色の異なる金属同士を組み合わせる「接合せ」の技法によって装飾文様を細密に表現し、詩情豊かな金工作品を創り出しました。そうした作品は高く評価され、2014年には重要無形文化財「彫金」の保持者(人間国宝)に認定されました。

本展では、昨年度当館に寄贈された山本晃氏の金工作品を中心に、昆虫や鳥、四季折々に咲く花々といった動植物のモチーフを表現した作品を選び展示し、繊細な色の諧調を示す色金を素材に山本の詩的想像力によって生み出された煌めく生命のかたちを紹介します。



山本晃 《切嵌象嵌接合せ箱「晩夏」》 2010年  
当館蔵(山本久代氏寄贈)

茶室

ななからげあやの

## 七搦綾乃 rainbows edge

【会期】2026年4月3日(金)ー2027年3月28日(日)

七搦綾乃のシリーズ《rainbows edge》は、文字通り虹の端を意味する。虹は明らかに目に見えるにもかかわらず、近づくことも手で掴むこともできない。彼女はこうした感覚的に理解し難い自然の不思議さに強い関心を持ち、これまで作品を発表してきた。

もちろん、虹のような現象は科学が発達した現代においては合理的な解釈ができるだろう。しかし、今でも私たちはひとたび山や森の中に入っていけば、木々や岩石といった自然物の中に言葉では言い表せない気配が潜んでいるのを肌身で感じ、時には恐怖をおぼえるのではないか。そして古来、日本人はそのような知覚ではとらえきれない自然現象をカミと呼んで畏れ敬ってきたと言えれば少し大げさに聞こえるだろうか。

七搦は知覚と感覚の狭間に生じる何かー日常の中では見落としてしまうようなかすかなものかもしれないがーを自然物から鋭敏に感じ取り、木彫で表現する。それは表現するというよりは素材に命を吹き込む呪術に似た行為かもしれない。彼女が創り出した「得体の知れない存在」が、茶室という空間の中でどのように輝きを放つのか、畏れとともに期待したい。



七搦綾乃 rainbows edge XX 一石の舌ー

# 特選鑑賞室

特選鑑賞室では、当館が所蔵する浮世絵版画の名品を毎月1点ずつご紹介いたします。  
今年度は、草創期からの画題である役者絵、美人画、そして江戸後期に人気が高まり画題として定着した花鳥画、名所風景画から、代表的な絵師の名品をご紹介します。

2026

4月



歌川広重  
「菖蒲に白鷺」

大短冊判錦絵 天保3～6年(1832～1835)頃

菖蒲の咲く水辺に舞い降りる白鷺を描く華やかな作品。鷺は紙の色とし、版木で凹凸をつける空摺の技法で羽根を表しています。

5月



歌川広重  
「紫陽花に翡翠」

大短冊判錦絵 天保3～6年(1832～1835)頃

紫陽花のみずみずしい彩色をぼかして表現し、翡翠や背景の鮮やかな彩色との対比も見どころです。若狭屋の版元印がある早い摺の作品。

6月



歌川広重  
「松にいんこ」

大短冊判錦絵 天保3～6年(1832～1835)頃

常緑であることから長寿の象徴とされる松の木に、舶来の赤い鸚哥がとまっています。異国風の新鮮さと吉祥的な意味合いをもつ格調高い作品。

7月



二代歌川広重  
「名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕い」

大判錦絵 安政6年(1859)

「名所江戸百景」のうち、二代広重が初代の没後に手がけた作品。赤坂御門に向かう坂道が雨にかすむ様子を遠景に描いた優品。

8月



歌川国芳

「東都富士見三十六景 個沖晴天の不二」  
横大判錦絵 弘化元年(1844)頃

江戸市中から富士山を望む風景画のシリーズ。本図は個沖から四手網越しに富士山を遠望し、幾何学的な構図が特徴です。

9月



歌川広重

「木曾海道六拾九次之内 宮ノ越」  
横大判錦絵 天保6～14年(1835～1843)頃

溪斎英泉が24図を描き、歌川広重が引き継いで47図を手がけ、完結したシリーズ。宮ノ越は詩情あふれる月景色を描いた名作。

10月



葛飾北斎

「諸国名橋奇覧 すばの国きんたいよし」  
横大判錦絵 天保2～5年(1831～1834)

山口県岩国市の錦帯橋を描いた作品。北斎は名所図絵などから景観や橋の構造を学び、風情ある雨の情景に仕上げています。

11月



歌川豊国

「松本米三郎」  
大判錦絵 寛政11年(1799)頃

役者の個性を美しく誇張し、匂い立つ色香まで伝える作品。写実と競合して好評を勝ち取った豊国は、滴を持って大首絵を手がけました。

12月



溪斎英泉  
「美艶仙女香 はつ雪や」  
大判錦絵 文政中期

白粉「美艶仙女香」の宣伝をかねたシリーズ。コマ絵は寒さに体を寄せ合う2匹の犬。併譜讃は、女性の足元の美しさを想像させます。

2027

1月



歌川国政  
「尾上栄三郎の曾我五郎」  
大判錦絵 享和3年(1803)頃

国政は、活躍当初から豪華な大首絵を描きました。本図は弱冠20歳の尾上栄三郎が演じる曾我五郎。荒事の躍動感に満ちた作品です。

2月



鈴木春信  
「風流五色墨 長水」  
中判錦絵 明和5年(1768)

早春の庭が見える室内で戯れる若い男女。錦絵の草創期に活躍した鈴木春信は、みずみずしい色彩と甘美な画風が特徴です。

3月



喜多川歌麿  
「扇屋内花扇 よしの たつた」  
大判錦絵 寛政8年(1796)頃

喜多川歌麿が描いた寛政期を代表する遊女、吉原の花扇。しなやかな線描で花扇の気品ある個性を描き出しています。



## 令和8(2026)年度

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館

### メンバーズクラブ会員募集

山口県立美術館および山口県立萩美術館・浦上記念館の  
展覧会等を通じて美術に広く親しんでいただき、地域文  
化の向上に寄与することを目的として、2014年4月に「県  
立美術館メンバーズクラブ」を設立しました。現在、会員  
を募集中です。特典は入会したその日から使えます。皆さ  
まのご入会をお待ちしております。

#### 年会費

- 一般：4,000円
- 学生(19歳以上の学生)：3,500円
- シニア(70歳以上)：3,100円

※学生・教職員の方はキャンパスメンバーズもご利用いただけます(但し加盟校の方が対象です)。加盟校、内容は2館のホームページでご確認ください。

#### 有効期間

令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

#### 募集期間

令和8年4月1日(水)～令和8年6月30日(火)

#### 主な会員特典

2館の特別展の中から、お好きな展覧会を  
5回分無料、6回目以降は半額でご覧いただけます。  
さらにコレクション展は  
何回でも無料でご覧いただけます。

特別展の無料観覧特典を  
同伴者おひとりのみ利用できます。  
(同伴者のご入場分は無料特典の利用回数に含まれます。)

会員証の提示で全国の提携館の入館料が  
割引になります。

#### 【提携館・提携施設】

サントリー美術館(東京・港区)／植田正治写真美術館(鳥取・伯耆)  
／足立美術館(島根・安来)／島根県立美術館(島根・松江)／島根  
県立古代出雲歴史博物館(島根・出雲)／島根県立石見美術館(島根  
県芸術文化センター「グラントワ」)(島根・益田)／尾道市立美術館  
(広島・尾道)／ひろしま美術館(広島・中区)／広島県立美術館(広島  
・中区)／広島市現代美術館(広島・南区)／愛媛県美術館(愛媛・松山)  
※詳しい割引内容はご利用の美術館・博物館でご確認ください。

その他、会員限定イベントや展覧会情報のお届けなど  
詳しくはチラシまたはホームページで。

【お問い合わせ】9:00～17:00 ※休館日を除く  
山口県立美術館 TEL 083-925-7788  
山口県立萩美術館・浦上記念館 TEL 0838-24-2400

## 令和8(2026)年度

山口県立美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館

### 法人サポーターズ会員募集

法人サポーターズは、山口県立美術館および山口県立萩  
美術館・浦上記念館が行う文化芸術活動の充実強化を、地  
域の法人および個人事業主のみなさまにサポートしてい  
ただくことを目的とした会員制度です。なお、会員特典は  
従業員の皆さまの福利厚生や、お世話になっている方へ  
のプレゼントとしてもご活用いただけます。

#### 年会費

- プラチナ会員：1口 10万円(税込)
- ゴールド会員：1口 5万円(税込)

#### 有効期間

令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

#### 申込受付期間

令和8年5月31日(日)まで

#### 会員特典

- ① 会員証の提示で、特別展とコレクション展が  
2名様まで無料で何度でも観覧できます。
- ② 特別展共通の招待券を贈呈します。  
※プラチナ会員は100枚、ゴールド会員は40枚
- ③ 特別展の開会式にご招待します。  
※プラチナ会員のみ
- ④ 美術館情報を定期的にご案内します。
- ⑤ 会員の社名・団体名を  
館内や両館のホームページで紹介します。

#### 【会員区分と特典一覧】

	プラチナ会員	ゴールド会員
年会費	10万円／1口	5万円／1口
会員証	2枚	1枚
	会員証提示で特別展・コレクション展とも 2名様まで無料 ※回数制限なし	
特別展共通券	県美・萩美 各50枚	県美・萩美 各20枚
開会式ご招待	○	×
ご案内送付	○	○
社名紹介(館内)	○	×
社名紹介(HP)	○	○

【お問い合わせ】9:00～17:00 ※休館日を除く  
県立美術館法人サポーターズ事務局 TEL 083-925-7788  
(山口県立美術館指定管理者サントリー・パブリシティサービスグループ)

## 山口県立美術館

特別展

### スウェーデン絵画

北欧の光、日常のかがやき

2026年4/28(火)～6/21(日)

(休館日)月曜日(ただし5/4、6/1は開館)

自然豊かな北欧の国、スウェーデン。19世紀後半から20世紀にかけて、芸術家たちは、祖国の自然や日々の暮らしを、親密で情感をたえた表現で描き出しました。本展は、スウェーデン国立美術館の全面協力のもと、魅力的で多彩な絵画を通して、自然と暮らしのなかにある美を大切にスウェーデンならではの感性に迫ります。



カール・ラーション《カードゲームの支度》  
1901年 油彩／カンヴァス  
スウェーデン国立美術館  
Photo: Anna Danielsson / Nationalmuseum

特別展

### 金曜ロードショーとジブリ展

2026年7/18(土)～10/12(月祝)

(休館日)月曜日(ただし7/20、8/10、9/21、10/12は開館)

これまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放送してきた「金曜ロードショー」。スタジオジブリが「スタジオ開き」を行い、日本テレビが「風の谷のナウシカ」を初放送した1985年を起点に、令和へと移り変わる社会の様子をたどりながら、ジブリ作品の魅力を紐解きます。



© Studio Ghibli

特別展

### 超絶リアリズム絵画 ホキ美術館所蔵名品展

2027年2/9(火)～3/28(日)

(休館日)月曜日(ただし3/1・22は開館)

世界でもまれな、写実絵画を専門に収蔵する美術館として知られるホキ美術館。日本における写実絵画ブームを牽引してきました。その約500点ものコレクションの中から、厳選した作品を紹介いたします。「リアル」を超えた存在感と迫力を放つ、魅惑の作品群をお楽しみください。



森本章介《ペリゴールの村》1999年  
油彩／カンヴァス ホキ美術館

2館共通情報  
観覧料

コレクション展 | 一般400円(320円)／学生250円(200円)

※( )内は20名以上の団体料金です。 ※70歳以上と18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。  
※有効期間内のメンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員、法人サポーターズ会員は無料。

特別展ほか | 展覧会によって料金が異なります

会期・開館時間・入館方法等が変更になる場合があります。ご来館の際は事前に各館ホームページにて最新情報をご確認ください。

【開館時間】 9:00～17:00(入場は16:30まで)

【休館日】 月曜日(※祝日もしくは振替休日の場合は開館し、翌火曜日休館。ただし、特別展開催時は火曜日も開館。※特別展開催中の6月1日(月)、8月10日(月)、12月7日(月)、2027年3月1日(月)は開館)、年末年始、展示替え期間

【住所】 〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1  
TEL 083-925-7788 FAX 083-925-7790

## 山口県立萩美術館・浦上記念館

特別展

### 開館30周年記念

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵  
ロックフェラー・コレクション花鳥版画展  
北斎、広重を中心に

2026年4/18(土)～5/31(日)

(休館日)月曜日(ただし5/4は開館)

ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館には、アメリカを代表する大富豪ロックフェラー一家の一員であるアビー・オールドリッチ・ロックフェラー(1874-1948)が蒐集・寄贈した日本の花鳥版画が約700点所蔵されています。本展では、同コレクションから歌川広重(1797-1858)や葛飾北斎(1760-1849)を中心に163点を厳選し紹介します。



歌川広重「椿に四十雀」  
大短冊判錦絵  
天保3-6年(1832-1835)  
RISD美術館所蔵  
Courtesy of the Museum of Art, Rhode Island School of Design, Providence  
Gift of Mrs. John D. Rockefeller, Jr.

特別展

### 開館30周年記念

This is SUEKI—古代のカタチ、無限大!

This is SUEKI—Ancient Vessels, Timeless Forms

2026年7/3(金)～9/23(水・祝)

(休館日)月曜日、7/21(ただし7/6、7/20、8/3、9/7、9/21は開館)

須恵器は、約1600年前の古墳時代に日本で作られた土器です。本展では、須恵器が使用された平安時代までの約500年の間に全国各地で作られた須恵器の名品200点あまりを集め、古代人が作り出した洗練された形や独創的な形といった様々な須恵器の造形美を紹介します。



広島県指定重要文化財 甕形須恵器  
(広島県安芸高田市一ツ町古墳出土)  
7世紀前半 個人蔵 撮影:中野耕司

特別展

### 開館30周年記念

現在形の陶芸 萩大賞展Ⅶ

2026年10/31(土)～12/20(日)

(休館日)月曜日、11/24(ただし11/2、11/23、12/7は開館)

第7回目となる陶芸の公募展。募集した作品の中から、厳選な審査を通過した優秀作品を紹介します。

※こちらの展覧会は、コレクション展扱いになります。メンバーズクラブ会員特典は、特別展5回分無料の対象でなく、コレクション展無料の対象となります。



増原嘉央理《紅白鮮 斜陽-2209-》  
2022年〔「現在形の陶芸 萩大賞展Ⅶ」  
萩大賞 受賞作品〕当館蔵



山口県立美術館  
HP



山口県立萩美術館・  
浦上記念館 HP

【開館時間】 9:00～17:00(入場は16:30まで)

【休館日】 月曜日(※祝日もしくは振替休日の場合は開館し翌平日休館。年末年始、展示替え期間)

【住所】 〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1  
TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401

# SCHEDULE 令和8年度(4月~6月)

■ 休館日 ★ イベント ● ギャラリー・ツアー ◆ ギャラリー・トーク

## 4

APR

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
展示室1	橋口五葉 (3/31 ~ 4/26)																													
展示室2	色絵磁器の美 (3/31 ~ 5/24)																													
展示室3~6	第49回山口伝統工芸展 (4/4 ~ 4/12)												開館30周年記念 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵 ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に (4/18 ~ 5/31)																	
展示室7	三輪葉一陶の造形一 (~ 4/26)																													
展示室8	萩焼の現在形 (~ 4/26)																													
特選鑑賞室	歌川広重「葛蒲に白鷺」(4/1 ~ 4/30)																													
茶室	七瀬綾乃 rainbows edge (4/3 ~ 2027.3/28)																													

## 5

MAY

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
展示室1	吉田博の風景版画 (~ 5/24)																														
展示室2	色絵磁器の美 (~ 5/24)																														
展示室3~6	開館30周年記念 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵 ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に (~ 5/31)																														
展示室7	焼締陶一土と炎の造形美 (~ 10/12)																														
展示室8	山本晃一生命の輝き (~ 8/23)																														
特選鑑賞室	歌川広重「紫陽花に翡翠」(5/1 ~ 5/31)																														
茶室	七瀬綾乃 rainbows edge (~ 2027.3/28)																														

## 6

JUN

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
展示室1	郷愁の風景—川瀬巴水 (~ 6/28)																													
展示室2	古代中国のやきもの (~ 10/12)																													
展示室3~6																														
展示室7	焼締陶一土と炎の造形美 (~ 10/12)																													
展示室8	山本晃一生命の輝き (~ 8/23)																													
特選鑑賞室	歌川広重「松にいんこ」(6/2 ~ 6/28)																													
茶室	七瀬綾乃 rainbows edge (~ 2027.3/28)																													

※1 吉田博の風景版画 (4/28 ~ 5/24) ※2 焼締陶一土と炎の造形美 (4/28 ~ 10/12) ※3 山本晃一生命の輝き (4/28 ~ 8/23) ※4 郷愁の風景—川瀬巴水 (5/26 ~ 6/28) ※5 古代中国のやきもの (5/26 ~ 10/12)

### ★ イベント

#### 記念講演会

【日時】4月18日[土] 13:30~15:00  
 【演題】「浮世絵の流通—花鳥画を愛でる心」  
 【講師】田辺昌子氏(国際浮世絵学会常任理事)  
 【会場】講座室(座席数84席)

#### 学芸員によるスライド・レクチャー

【日時】5月16日[土] 13:30~15:00  
 【会場】講座室(座席数84席)

#### 【同時開催】「花と野鳥の写真展」

【会期】4月18日[土]~5月31日[日]  
 【会場】当館交流スペース  
 新光産業きらら浜自然観察公園レンジャーによる野鳥の解説  
 【日時】5月23日[土] ①14:00~14:40  
 ②15:00~15:40

#### GWイベント

【日時】5月2日[土]~5月6日[水]  
 【内容】開催中の特別展にちなんだガチャが登場  
 【定員】各日100名(要特別展観覧券)

### ● ギャラリー・ツアー

(担当学芸員による特別展作品解説)

開館30周年記念  
 ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン美術館所蔵 ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に

【日時】会期中の毎週日曜日  
 11:00~12:00  
 【会場】本館2階展示室

※ギャラリー・ツアー、ギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。  
 ※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。

### ◆ ギャラリー・トーク

(担当学芸員による展示作品解説)

いずれも11:00~(30分程度)  
 ◆ 4月11日[土] 橋口五葉  
 ◆ 4月25日[土] 色絵磁器の美  
 ◆ 5月 9日[土] 吉田博の風景版画  
 ◆ 5月23日[土] 焼締陶一土と炎の造形美  
 ◆ 6月13日[土] 郷愁の風景—川瀬巴水  
 ◆ 6月27日[土] 山本晃一生命の輝き

公式HP  
 臨時の休館や  
 イベントを中止・  
 変更する場合  
 があります。



詳しくは当館ホームページをご覧ください。  
 お問い合わせ  
 TEL 0838-24-2400  
 URL <https://hum-web.jp/>

### 表紙について

鈴木春信「秋海棠に蝶と猫」中判錦絵 明和4年(1767)頃

猫が小さな舌を出して蝶を見上げています。中国で猫は「毫=七十」、蝶は「蠶=八十」と同じ音であることから耄耋圖とよばれ、長寿を意味するおめでたい図柄とされました。錦絵草創期に制作された本図は、輪郭線を摺らずに柔らかく鮮やかな彩色とし、猫の体を紙の凹凸で表すなど、繊細な版画表現が行われています。

### 交通アクセス

#### 【新山口駅から】

- 直行バス「スーパーはぎ号」(約60分)で  
萩・明倫センター下車、徒歩約5分
- 防長バス(約90分)で  
萩バスセンター下車、徒歩約12分

#### 【山口宇部空港から】[萩・石見空港から]

- 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)  
約70~80分(利用前日までに要予約)
- 「中国自動車道」美祿東JCT経由、  
「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
- 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い

#### 【JR山陰本線】

- JR 萩駅からタクシー約7分
- JR 東萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約20分
- JR 玉江駅から徒歩約20分

#### 【自動車】



最新情報は公式SNSで